

# 防災部局と連携した災害時の 健康危機管理システムの構築

－ 出生数・妊婦数を考慮した広域地域分析 －

高田洋介

# 研究の目的

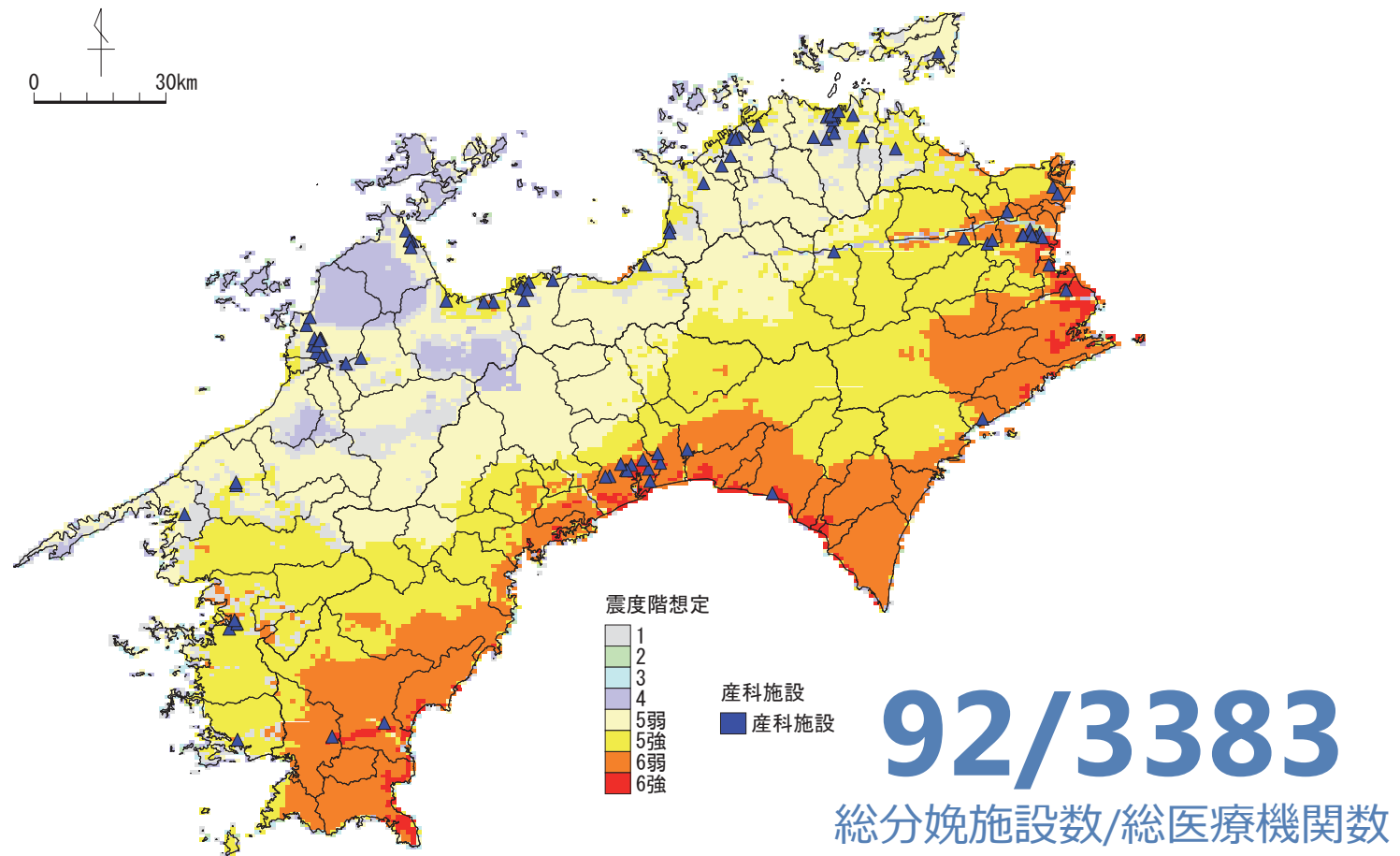
- 災害による生活環境の悪化に伴う健康危機への対応は保健・医療・福祉関係者の技術だけでは対応できず、防災部局との連携した支援が重要である。
- 本年度は妊婦に焦点を当て、災害時にどのようなニーズがどれくらい発生するのか、その全体像を示すことにより、災害時用配慮者に対する行政側の事前取り組みの動機付けを目的とする。



# 各組織に関連する危険性の定量的評価

- 支援対象者（妊婦）量の可視化
- 南海トラフ巨大地震に伴う分娩医療機関の被害予測を四国をモデルに可視化

# 震度×分娩医療機関



基本ケースを採用（中央防災会議）

# 分娩件数

**DAY 1**

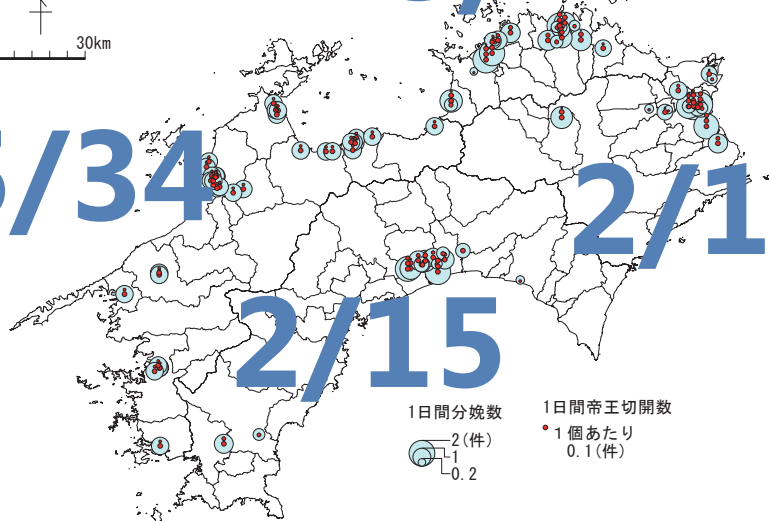
**3/22**



**5/34**

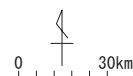
**2/16**

**2/15**



**DAY 5**

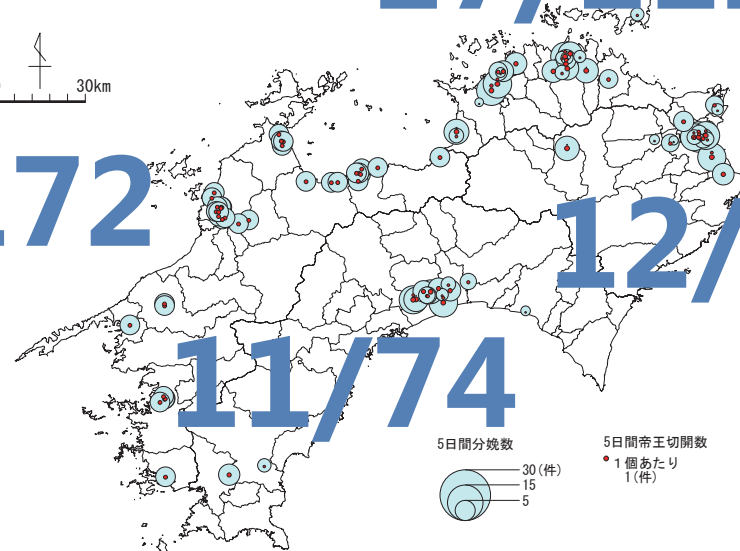
**17/112**



**26/172**

**12/82**

**11/74**



# 分娩件数

DAY7

24/157

36/240

17/115

16/104

DAY10

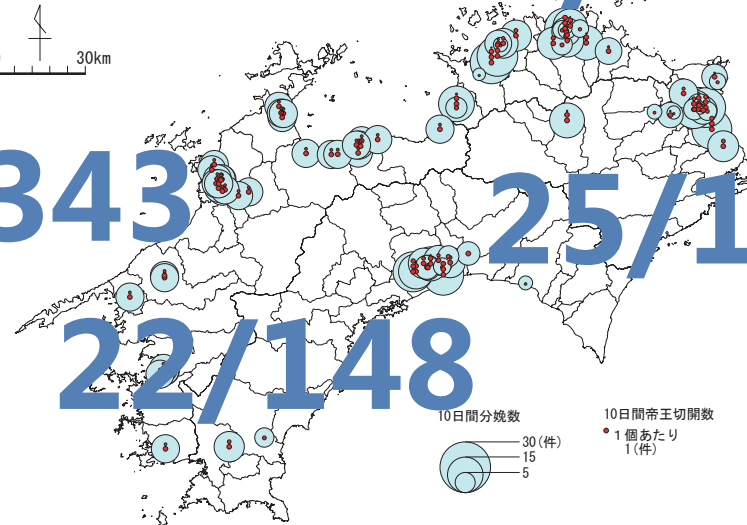
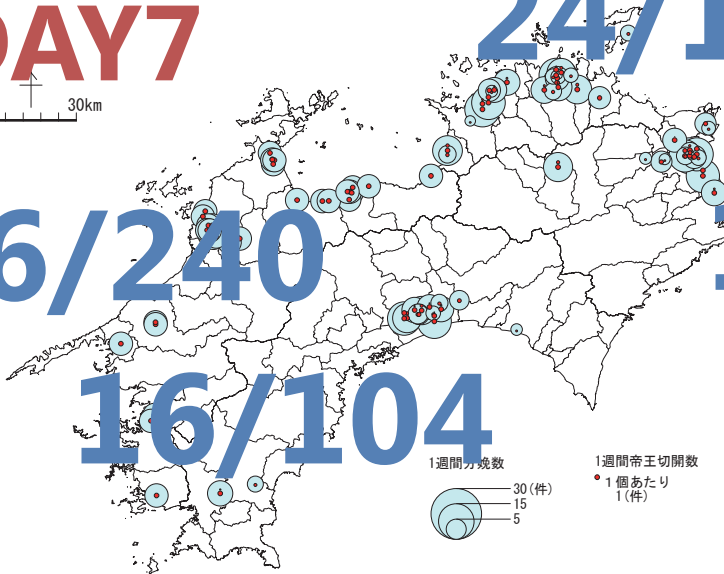
34/224

51/343

25/165

22/148

帝王切開/経膈分娩



# 分娩件数

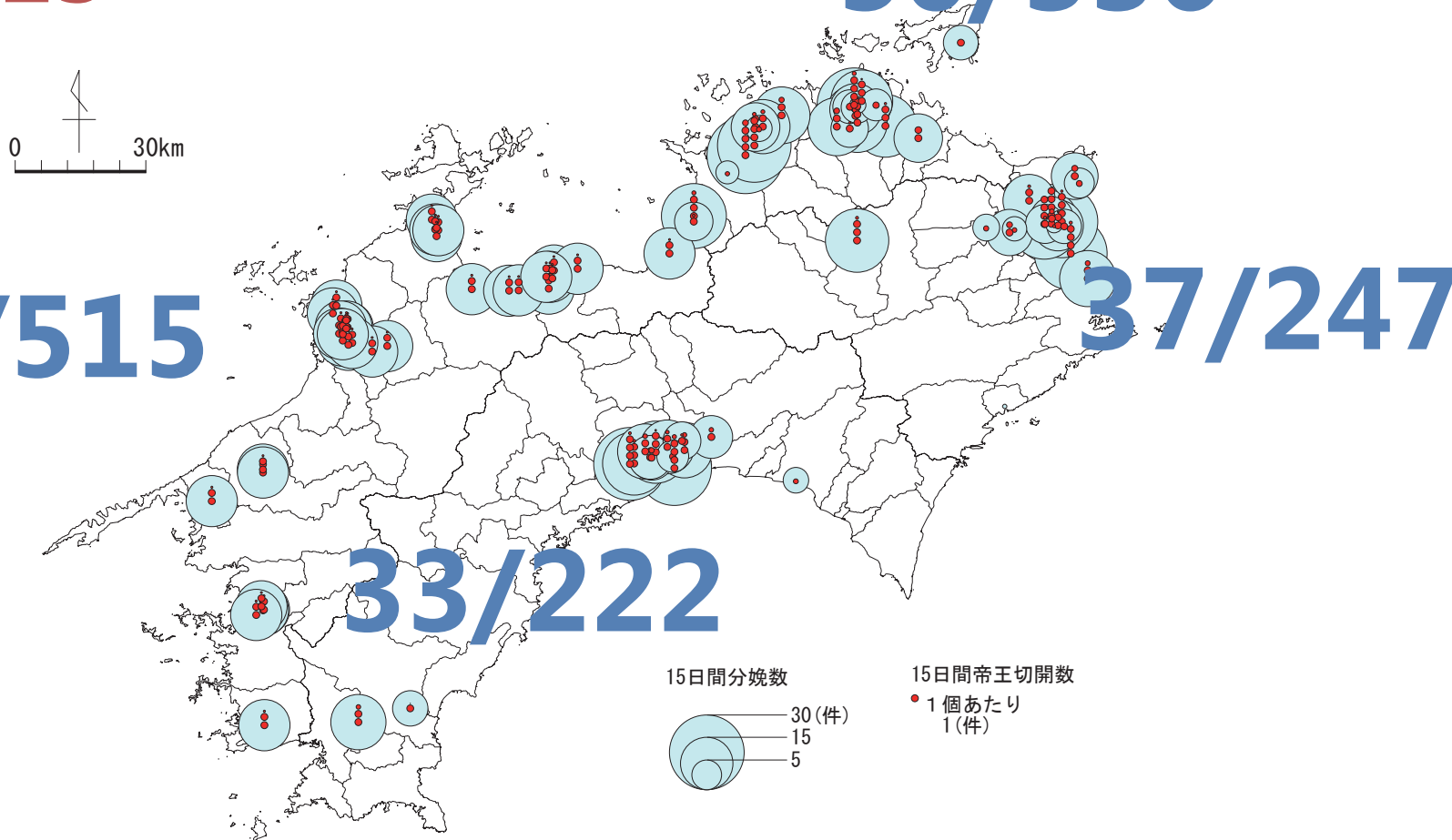
DAY15

50/336

77/515

37/247

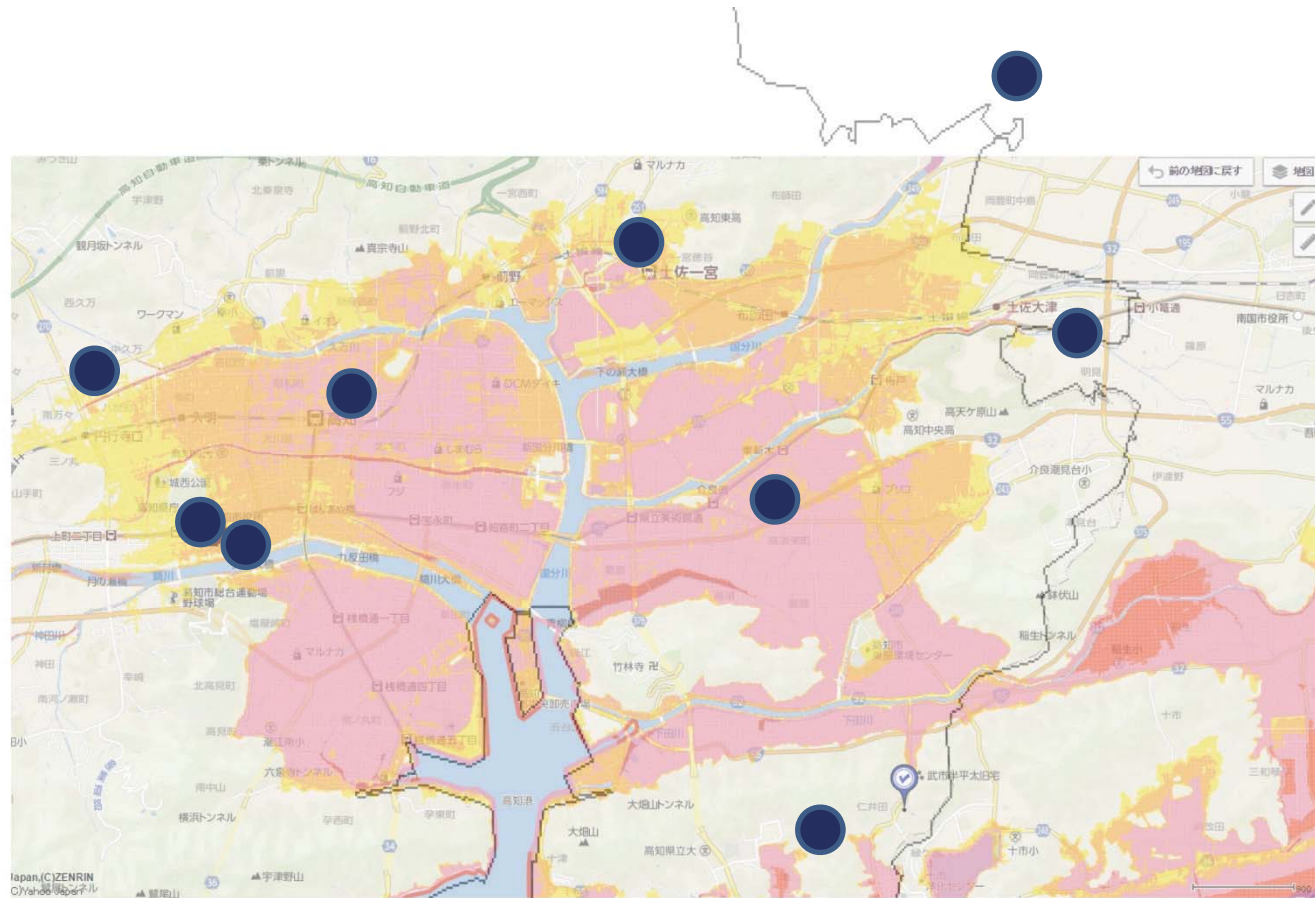
33/222



帝王切開数/分娩数

# 高知市津波浸水予測域と分婭取扱施設

6/11



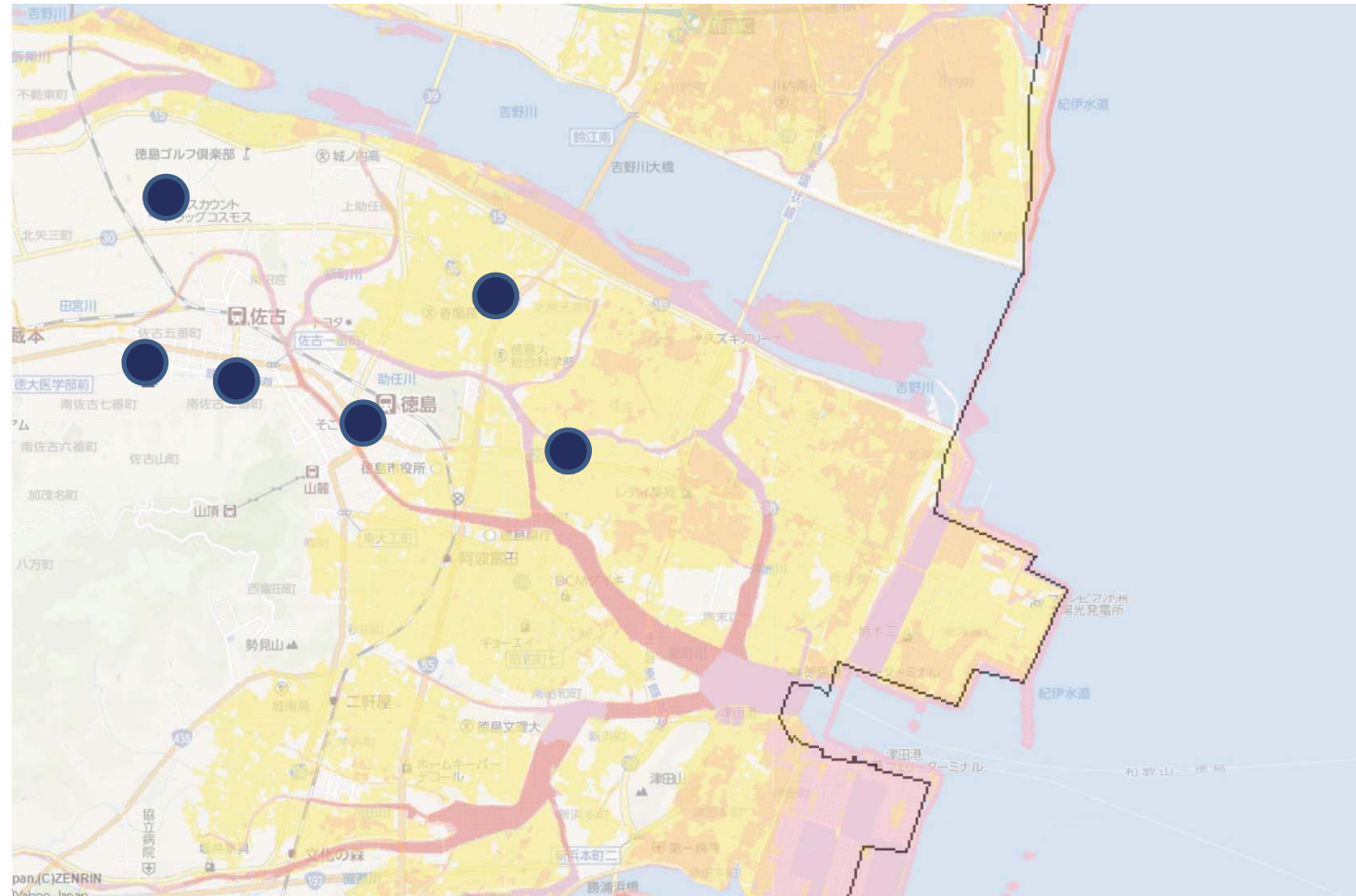
BASE MAP Yahoo地図「南海トラフ巨大地震の津波被害想定」 震源：四国沖  
<http://maps.loco.yahoo.co.jp/maps?>

作成 坪井



# 徳島市津波浸水予測域と分婭取扱施設

2/8



BASE MAP Yahoo地図「南海トラフ巨大地震の津波被害想定」 震源：四国沖  
<http://maps.loco.yahoo.co.jp/maps?>

作成 坪井

# 個別性に配慮した福祉避難所のあり方に関する研究会



# P-HUGによる課題認識

保健所だけでは対応できない

避難所のデザイン（ハード・ソフト）は防災部局・保健福祉部局連携が必須

避難所名簿から妊産婦の存在把握が鍵

分娩や妊婦健診の継続には医師会（産婦人科医会）助産師会との連携が必要

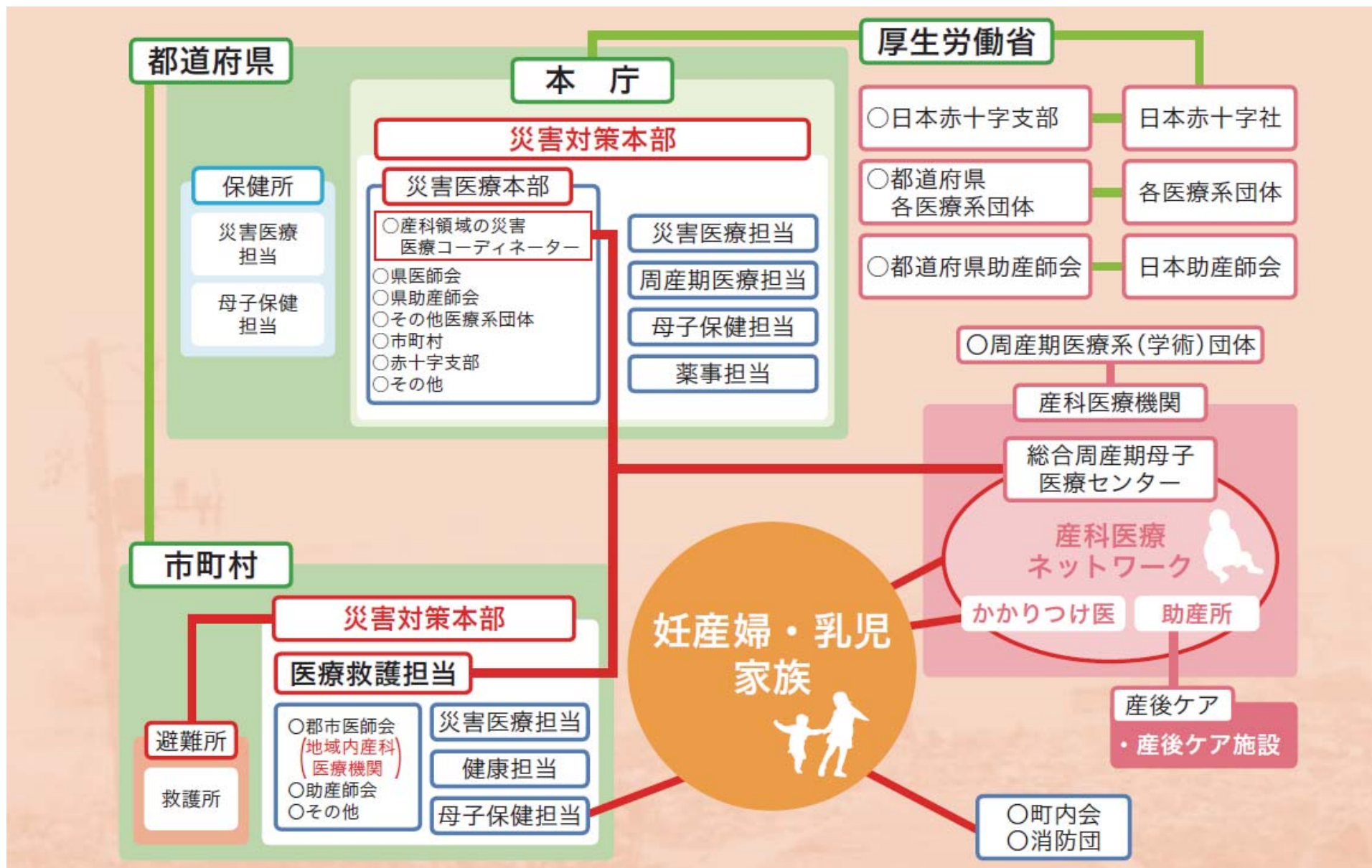
分娩・帝王切開は周産期医療機関の協力が必須

福祉避難所に入れる対象は？妊婦？産婦？乳幼児？夫？

分娩キット、授乳スペース、調乳関連用品が必要

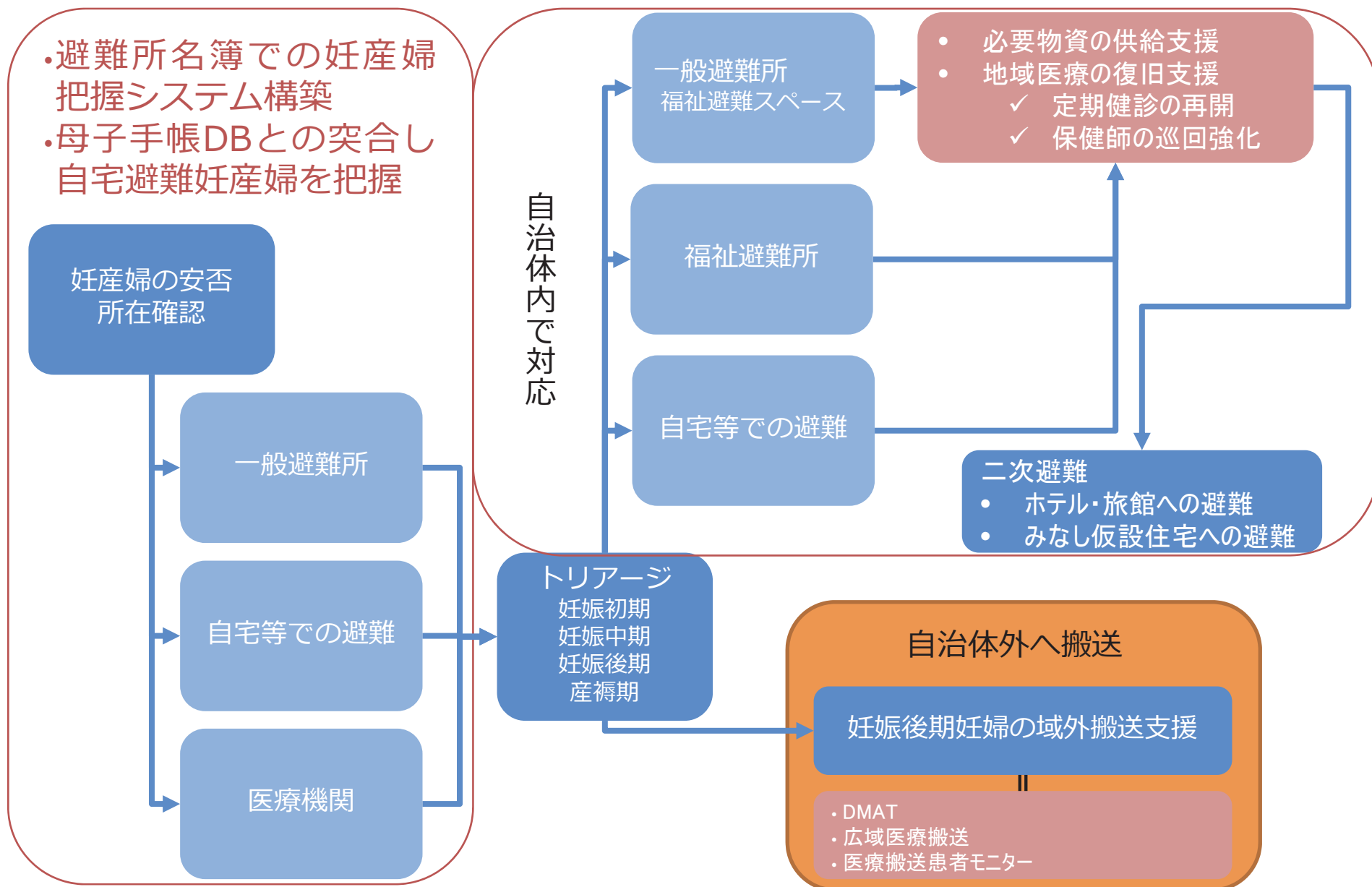
地域での優先的資源投入エリアを明確化

# 災害時のステークホルダー



厚生労働省「東日本大震災被災地の小児保健に関する調査研究」班

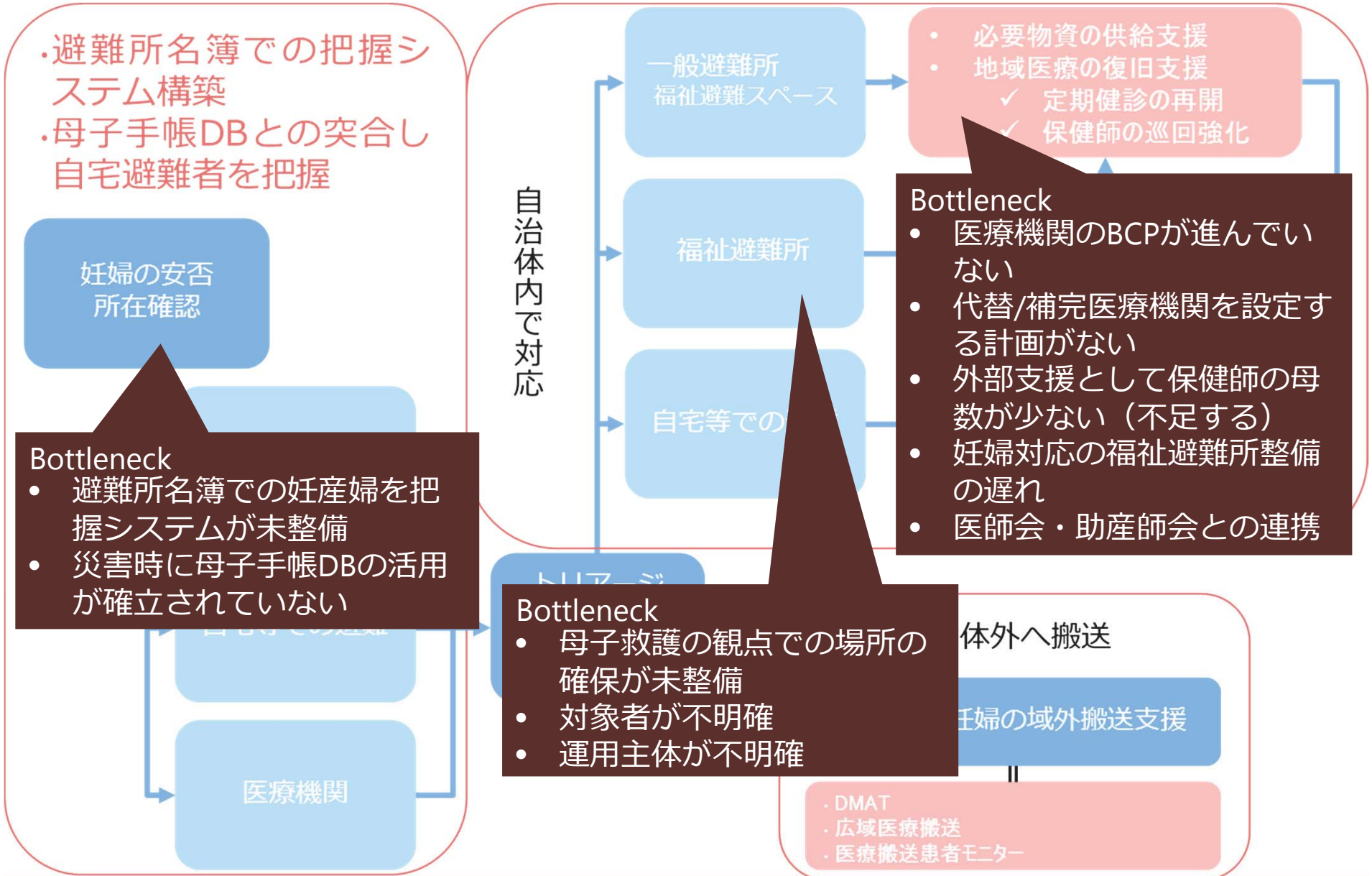
# 対応業務の構造化:通常医療の継続(妊産婦の支援)



YT1

YT2

# 対応業務の構造化:通常医療の継続(妊産婦の支援)



# 長期に被災地の分娩施設が機能停止した場合、仮設施設の設置も検討すべき



# まとめ

- 四国をモデルに南海トラフ地震による分  
娩可能施設の被害予測を可視化した
- 四国の分娩可能施設は沿岸部の都市部に  
集中し、人口の少ない内陸部に分娩可能  
施設がほとんどなかった
- 高知・徳島では津波による浸水で機能停  
止に至る分娩施設があり、長期に機能停  
止した場合の対策を講じる必要性が明ら  
かになった